



秋の気配が色濃く感じられる季節になりました。夏の暑さで疲れた身体も徐々に元気を取り戻されている頃ではないでしょうか？今年も残り3ヶ月を切り、あっという間に冬を迎えそうですね。Discovering Soundsスタッフ一同、今年に悔いが残らぬよう引き続き頑張っていく所存です！！

Voice ~受講生インタビュー vol.3~

当スクールの発音矯正プログラムを受講された方へのインタビュー第三弾を敢行！！

今回は元受講生であり、現在講師を務めている前田先生にインタビューを行いました！！

Discovering Sounds
現講師：前田杏咲子



Q. プログラムや授業の内容やはどうでしたか。

A. 最初は出来ないことが多く苦戦しましたが、的確なアドバイスや指導のもと、一つ一つ克服していくことが出来ました。また、一度で完璧を求めず、段階を踏んで焦らずに進めてくださり、気持ち的にも安心してついていくことが出来ました。

Q. 受講前と受講後で変化は感じられましたか。

A. 受講後に感じられた変化の一つが、自信を持って英語を話せるようになったことです。時間とお金をかけて「発音」という科目をアカデミックに学ぶことの重要性を感じました。もう一つは、発音記号をすぐに調べる癖がついたことです。スペルと音のギャップがあったり、思っていた音と違うときほど発見があり、ゾクゾクしますね。笑

前田先生から一言

英語に自信が持てないとお悩みの方！「発音」から英語にアプローチをかけてみるのはいかがでしょうか？発音の魅力伝えるべく、口周りの筋トレから単語、長文まで丁寧に指導いたします。発音のプロフェッショナルたちが皆様をお待ちしております！

まずは体験レッスンから！▶ <https://discoveringsounds.com/trial/>

舐める音=flapping (フラッピング)とは

今回は、~今月の発音ポイント~のテーマでも触れました「舐める音=flapping (フラッピング)」について説明していきたいと思えます。

フラッピングとは、[t][d]が母音に挟まれた時に起こる発音の変化を指します。具体的には、[t][d]をはっきりと中舌で弾くのではなく、舌先が軽く上顎に当てるだけの[ドゥ]と[ル]の間の音のような柔らかい音を作ります。waterはウォーターと発音しますが、フラッピングが起こると「ワラー」に近い音になります。この音の変化は単語だけでなく、単語と単語の境界でも起こります。例えば、get itやdid it againは「ゲリッ」や「ディリラゲン」のように聞こえます。一音一音完全に発音するのではなく、このようにフラッピングを使うことで音の流れを止めずに自然に話すことが出来ます。

まずは舌の弾き体操から練習してみましょう！

長文 Before & After

新作だよ♪
下記のURLから
観てみてね



<https://www.youtube.com/watch?v=MAPs2dFu7EA>



Tip of the Month
~今月の発音ポイント~

【舌の弾き体操】

アメリカ英語に多い特徴的な「舐める音=flapping(フラッピング)」をマスターしましょう！[t][d]を中舌ではなく、舌先で上顎を後ろから前に弾き「ドゥ」と「ル」の間の音のような軽い音をで発音します。中舌から後舌は上の奥歯の表面につけながら、また顎を固定させたまま、舌先尖がらせずに力を抜いて弾きましょう。